

この説明文書は本剤とともに保管し、服用の際には必ずお読みください

Ⓐ

かぜ薬

かぜジエットA

第2類医薬品



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

- (1)本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2)本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬
(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬)

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと(眠気があらわれることがある。)

4. 服用時は飲酒しないこと

5. 長期連用しないこと



相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること

- (1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。
(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3)授乳中の人。
(4)水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザににかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)。
(5)高齢者。
(6)本人又は家族がアレルギー体質の人。
(7)薬によりアレルギー症状やぜんそくを起こしたことがある人。
(8)次の症状のある人、 高熱、排尿困難
(9)次の診断を受けた人、 甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

- (1)服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
そ の 他	排尿困難

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症 状 の 名 称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しき等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
間質性肺炎	空せき(たんを伴わないせき)を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。(これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診察を受けること。)
ぜんそく	

裏面もお読みください

(2)5～6回服用しても症状がよくなる場合、

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること
便秘、口のかわき

Ⓐ

成分及び分量 本品1日量(6カプセル)中

アセトアミノフェン	650.0mg	ノスカピン	48.0mg
エテンザミド	400.0mg	dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60.0mg
クロルフェニラミンマレイン酸塩	7.5mg	無水カフェイン	75.0mg
ジヒドロコデインリン酸塩	18.0mg	ゴオウ	3.0mg

添加物として、D-マンニトール、カルメロースカルシウム、結晶セルロース、バレイショデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースナトリウム、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、ゼラチン、ラウリル硫酸ナトリウム、赤色2号、黄色4号(タートラジン)、黄色5号を含有する。

効能又は効果

かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

用法及び用量

いずれも、1日3回食後なるべく30分以内に服用してください。

15歳以上	1回	2カプセル
7歳以上15歳未満	1回	1カプセル
7歳未満		服用しないこと

〈用法及び用量に関連する注意〉

- (1)用法及び用量を厳守してください。
(2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
(3)カプセルの取り出し方

右図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。
(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)

＜PTPシートの取り出し方＞



保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
(2)小児の手の届かない所に保管してください。
(3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
(4)配置期限を過ぎた製品は服用しないでください。

お問い合わせ先

大協薬品工業株式会社 お客様相談窓口 電話：076-479-1313
受付時間 9：00～17：00（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話：0120-149-931（フリーダイヤル）

製造販売元  **大協薬品工業株式会社**
富山市水橋町等173